

赤沼

赤沼は、磐梯山が 1888 年に噴火し、地滑りによって近くの川がせき止められた結果作られた、約 30 の浅くカラフルな沼と湿地が集まった五色沼の 1 つです。

赤沼には、磐梯山の北斜面にある火口湖である酸性で鉄分の豊富な銅沼の湧水が流れ込んでいます。赤沼という名前にもかかわらず、水は通常、わずかに赤い色合いの緑がかった色にみえます。この赤い色は、池に生息しているヨシや他の水生植物の根に蓄積している赤サビの残りから生じています。